



つなごう未来へ！島原半島世界ジオパーク



島原半島世界ジオパーク
キャラクター「ジーオくん」

ジオパークであり 続けるための取り組み



島原半島世界ジオパーク
キャラクター「ジーナちゃん」

☎ 島原半島ジオパーク協議会 ☎0957(65)5540



ジオサイト⑤ 雲仙国立公園



今回のジオサイトは雲仙国立公園です。

国立公園は、「素晴らしい自然を守るため、開発を制限し、人々が自然と親しみ、利用しやすいよう各種情報提供や利用施設を整備している」自然公園の制度のことです。6月現在、国内に31地域あります。

雲仙地域は、昭和9年3月16日に瀬戸内海や霧島屋久と共に日本で初めての国立公園に指定されましたが、その指定を勝ち取ったのは、地域住民の力でした。

雲仙が国立公園に指定されるきっかけは、昭和2年に新聞社が主催した「日本八景」の選定です。昭和の新時代を代表する日本の風景を国民が選ぶというこの企画は、新聞読者が推薦する景色をはがきを書いて送り、その数が多い風景に対して学者や行政関係者、文学者や画家など、48人の審査員が審査、認定するというユニークなものです。わずか42日間の投票期間であったにも関わらず、1億近い票を集めました。この企画に島原半島の住民が一丸となって参加した結果、雲仙が「山岳部門」で見事第1位に選ばれました。これをきっかけに、「雲仙を日本最初の国立公園にしよう」という気運が高まり、県を挙げた取り組みが行われました。昭和5年に行われた長崎県知事の伊東喜八郎氏による内務大臣への陳情や、住民の手による大規模なキャンペーンの開催を支えたのは、雲仙の美しい自然を守り、地域の誇りにしようという皆さんの熱い思いでした。

雲仙が国立公園に指定されてから今年で80年。この美しい自然を島原半島のシンボルとして活用しながら保全し、未来に残していきましょう。

国立公園「雲仙」指定80周年及び 島原半島世界ジオパーク認定5周年 記念イベント



● 記念式典

☎ 8月23日(土)

☎ 雲仙ゴルフ場(雨天時:雲仙メモリアルホール)

☎ 9:00 開場・ジオマルシェスタート / 10:30 忍たま乱太郎キャラクターショー / 11:30 そうめん流し / 13:00 記念式典 / 14:00 忍たま乱太郎(2回目) / 16:00 閉場

☎ 申込不要で、誰でも自由に参加できます。

☎ 島原半島観光連盟 ☎0957(62)0655

島原半島の魅力 ～雲仙岳百景～フォトコンテスト



島原半島の魅力が伝わる写真を募集しています。風景、食べ物、人など島原半島の魅力が伝わる作品であれば何でもOK。

● 賞…グランプリ30万円、月間賞1万円相当の島原半島産物
☎ Eメールまたはフェイスブック「撮ってくれんね！南島原コンテスト」から投稿

☎ 平成27年1月31日

☎ 環境省雲仙自然保護官事務所フォトコンテスト係

☎ 0957(73)2423

Eメール: RO-UNZEN@env.go.jp

復興への



〜東日本大震災災害派遣レポート〜

Vol.27

南島原市災害派遣職員 林 田 昭 義

7月末に入谷災害公営住宅(51戸)と名足災害公営住宅(33戸)が完成しました。南三陸町では、災害公営住宅が770戸整備される



予定で、その中でも土地造成が比較的容易だった2箇所が今回完成し、8月初めから入居が始まります。残りは、順次建設を行っていき、最終的には平成29年度末までの全戸完成を目指しています。

災害公営住宅は通常の公営住宅とは異なり、「同居する親族が必要」「収入が一定水準以下であること」といった入居要件はありません。東日本大震災による津波で住宅を失い、自ら住宅を確保するこ

とが困難な人に安全・安心で、そして安い家賃で住んでもらおうという方針の下に整備されます。

整備にあたっては、建物を建てるだけでなく、今ある地域の中に新たに住宅が整備される関係上、入居予定者や近隣住民と役場が一体となって地域社会の形成に努めてきました。その一環として新しい住まいについて夢を語り合い、アイデアを出し合う場として「くらしの懇談会」を開催してきました。

災害公営住宅の屋外空間や集会所をどのように「使うのか」「作るのか」を語り合い、楽しくアイデアを出し合った結果、今回合わせて整備された集会所に生かされており、どのような街並みになるのが楽しみです。

完成した災害公営住宅を見ると、かつて山林だった場所に建物が建ち並んでいき、月日がたつのは早いと思いつつ、「復興に向けて、一歩ずつ前に進んでいる」と実感しています。

南島原市国際交流員 コラム チュウ&フランシ中伊報「夏の恋」

青春期といえば、8月の今のような“あつさ”で、誰かを好きになることがよくあるでしょう。でも残念なことに、中国では、子どもたちが恋するのは先生や両親にとって望ましくないことです。



イタリア語で「アモーリ・エステイーヴィ」=「夏の恋」という言葉があります。

年齢に関わらず夏の間にしか続かない短く情熱的な恋愛関係を表す言葉です。この期間は、道で手をつないでキスをしたり、ハグをしたりするカップルがいつもより多いです。

恋に熱中して勉強を怠り、進学の邪魔にならないかの心配や、正しい性教育を受けていない子どもたちの心配があるみたいです。だから、子どもの恋に気付いたら、大人は説教や尾行するなど大騒ぎです。しかし、子どもたちは密かに恋を続けます。中には一緒に志望校を目指して頑張る例も少なくないし、結婚までたどり着く恋もあります。それを見て、いつも感心します。(チュウ)

日本では考えられないかもしれませんが、イタリアでは、どんなに両親や先生に反対されていても真面目で、性交がある高校生の恋愛は決して珍しくありません。情熱的な国民性によるものだと思いますが、イタリア人の初恋は日本人より早い気がします。(フランシ)